

ウェル★シェア

令和7年10月号
(年4回発行)2025
No.14<https://sites.google.com/view/y-fukushi-jinzai/>

山梨県福祉人材センター

検索

就労支援って何するの？

今月号は、福祉施設で働く人・求職者の方とシェアする情報です。福祉の仕事を探しているときよく耳にする『就労支援』。「就労支援って何するの?」「職員の方の働き方のイメージがわきにくい」、と感じたことのある方もいるのではないのでしょうか。今月号では就労支援の内容をまとめ、実際の施設での働き方についてご紹介します。

山梨県内の就労支援事業所数

参考:障害者福祉サービスのご案内令和7年度版(山梨県)

就労移行支援 ▶ 39事業所

就労継続支援A型 ▶ 28事業所

就労継続支援B型 ▶ 166事業所

就労定着支援 ▶ 14事業所

それぞれの事業所の概要

参考:障害者の就労支援対策の状況(厚労省)

就労移行支援

就労を希望する障害者であって、一般企業に雇用されることが可能と見込まれる者に対して、一定期間就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

就労継続支援A型

一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が可能である者に対して、雇用契約の締結等による就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行います。

就労継続支援B型

一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行います。

就労定着支援

就労移行支援等を利用して、一般企業に新たに雇用された障害者に対し、雇用に伴い生じる日常生活または社会生活を営む上での各般の問題に関する相談、指導及び助言等の必要な支援を行います。



就労継続支援B型

2ページ目以降で就労移行支援と就労継続支援B型の事業所の経営側の方と職員の方にお話を伺いましたので、是非参考にしてください。

公益財団法人 日本ケアフィット共育機構 障害者就労支援事業所ケアフィットファームで施設長・サービス管理責任者を務めています、竹川華(たけかわ・はな)さん(49歳)にお話を伺いました。

Q. ケアフィットファームの概要や特色を教えてください。

A. 農業を中心とした6次産業化を目指した施設で、主に生食、ワイン用のブドウを栽培しています。栽培から加工、販売までの一連の作業を、就労機会として提供しています。自社農園での栽培や県内産にこだわった商品づくりが特徴です。働く仲間と共に試食を繰り返し商品化していくなど、「共に」考えて作り上げていくことを目指しています。自然の中でお互いを生かし合いながら共に成長し続ける営みを「自然体」と呼んでいて、「自然体でいきる」をパーパス(目的)に掲げています。他の事業所に比べて作業の種類が多いので、自分の好きなことや将来やってみたいことを見つけやすい魅力もあるかと思っています。自ら考え自身のやりたい事や夢に向かって進んで行って欲しいと考えています。働きながら利用者の方が心地よくいられる居場所を大切にしているので、卒業後も気軽に立ち寄ってくれる利用者が多くいて、今でも交流が続いています。



Q. 自社農園を始めた理由やきっかけは何ですか？

A. 2016年に開所したのですが、その10年前に本部のある東京から代表理事ら有志がブドウ作りをしたいということで山梨との行き来を始めました。通っているうちに、甲州市の魅力やブドウの魅力を感じた半面、耕作放棄地の増加や高齢化による農業の担い手不足といった課題が見えて来て、何か力になれないかということで事業所を立ち上げました。耕作放棄地を借りたり、買ったりして、だんだん広げていったというのが自社農園を始めたきっかけです。(現在、農園はすべて合わせると2ヘクタール弱あります。一部野菜も作っています。2018年に醸造免許を取得しました。)

Q. 農業を通じた支援の中で、大切にしている理念や考え方を教えてください。

A. 農業の良さはたくさんあると思います。収穫の喜びがあり、それを食べた人たちと小さな幸せを分かち合えるという部分もあります。自然の中に身を置いて心を癒やしてくれますし、食のありがたみを伝えることもできます。農業は地域の財産です。就労支援の観点の中でこの地域で生きていく為に力になることを守り、与えられて生きるのではなく自分で考えて生きられるようにしたいと考えています。障害があるから、ないからではなくその人に合った支援と一緒に探し、少しでも安心して当たり前楽しく過ごせるようにしたいと考えています。

Q. 地域とのつながりや連携について、どのような取り組みをしていますか？

A. 10年前は農福連携が定着していなかった為、最初はなかなか地域の農家さんには受け入れられなかったです。障害者への偏見も根強かったのかもしれませんが、少しずつ周囲の理解も広がり、フィルターがなくなっていくように思います。施設外就労でお手伝いに行くと、働きぶりに驚いて毎年お仕事の依頼をしてくれる農家さんが増えました。地域とのつながりを大切にしている、地域の農家さんから、規格外の果物で商品化の依頼を受けるという仕事も増えています。なるべく地域の方と関わりがもてるように、地域イベントに積極的に参加したり、イベントも開いたりしています。今年はケアフィットマルシェを開催しました。



Q. 福祉人材の採用や育成で重視しているポイントは何ですか？

A. 向上心、やる気を重視しています。支援方針の一つに、各自に合った「生き方」「働き方」を見つけることができるよう、あらゆる人が共に働き、共に学べる場の提供があります。言われたことをするのではなく自分で考えて行動できる人、障害者だからではなく相手を同じ人として見ることができる人を育成したいと思っています。相手に教えることもあれば、逆に教わることもたくさんあります。相手が誰であろうと、素直に受け入れられるということも大事だと思っています。



活発な意見を出し合う
イベントの打ち合わせ

公益財団法人 日本ケアフィット共育機構 障害者就労支援事業所ケアフィットファームの支援員、宿沢一樹(しゅくざわ・かずき)さん(37歳)にお話を伺いました。

Q. 貴施設に入職しようと思った理由は何ですか？

A. 入職して丸4年になります。以前は高齢者施設の生活介護員として働いていて、障害者の方々との農作業や農機具を扱う経験がありました。その経験を就労支援の現場でも生かせるのではないかと思いました。ケアフィットファームの理念にある「共に」という言葉にも魅かれました。アットホームな職場環境であり、その中で自分の居場所や役割を見つけていけたらいいなと思って入職しました。

支援の原点には「誰かの為になりたい」という思いがあります。職員も利用者さんも「共に」助け合える職場です！

Q. どんなところが働きやすいと感じていますか？

A. 職員も利用者さんも、一人一人の長所が生かされて、伸ばせる職場だと思っています。逆に苦手な部分はみんなでフォローし合うという環境なので、働きやすさを感じています。もともと利用者さんと仕事することに楽しさを感じ、体を動かすことも自分の長所だと考えています。無理して仕事をしているとつらくなってしまうことが、職員にも利用者さんにもあると思うので、長所を役割としているところに居心地の良さがあるのかなと思っています。



宿沢一樹さん

Q. 日々の農業支援のなかでどのような業務を担当されていますか？

A. 農作業の中でもメインはブドウです。巨峰やシャインマスカットといった生食用をはじめ、ワイン醸造用の甲州なども育てています。防除としてSS(スピードスプレーヤー)に乗ったり、機械を使って草刈りをしたりというのは職員が担っています。ただ、私自身、マルチに活躍したいという気持ちがあり、ケアフィットファームにある作業場、全ての仕事にかかわりたいと思っています。利用者の方が取り組める仕事を生み出す事も大切な役割です。農作業では安全面からも準備が大事なので、夏場ですと帽子やタオルを忘れていないかとか、水分補給に適した飲料を持っているかとか、利用者さんに助言を徹底するようになってなるべく少ない疲労感で過ごせるように配慮しています。

ぶどう園で
作業するスタッフ



Q. 農作業を通じての利用者さんや周りの反応を教えてください。

A. 自然と向き合うので、正直大変だと感じることもあります。ただ、「共に」という理念の元、1人ではなく、みんなで協力して作業をすれば疲労感を軽減できますし、収穫時は達成感、やりがいを感じているように思います。栽培はもちろん、加工、販売まで、一つの商品に利用者さんが関わらないということがないので、売り場に商品が並び、消費者の元へいくという喜びも感じ取っています。お手伝いに出向く施設外就労先の農家さんからは「とても助かっている」という反応が多く、利用者さんも農家さんから指導を受けて技術力がアップしたり、役に立っていると感じられたりするので、メリットが高い取り組みだと思っています。



天空カボチャを栽培するための畝づくり作業

Q. これからの福祉現場を目指す人へのメッセージをお願いします。

A. 福祉の現場という、つらさや大変さを思い浮かべるかもしれませんが、人と人とのつながりを持ってお互いに助け合える場所だと考えています。利用者さんの喜ぶ姿を見ることができたり、普段はなかなか機会がないと思いますが、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝え合えたり、福祉職の楽しさや魅力、醍醐味を感じて欲しいと思います。私自身、学生時代に医療機関に助けをもらい、自分も誰かを助けたいという思いが根本にあります。あまり難しく考えず、シンプルに誰かのためになるという思いさえあればいいと思います。

**公益財団法人 日本ケアフィット共育機構
指定障がい者就労支援事業所 ケアフィットファーム**

〒404-0033 甲州市塩山赤尾650 TEL.0553-39-8681

提供サービス 障害者就労移行支援、
障害者就労継続支援 (B型)

関連施設 大阪事務所、
ケアフィットファームワイナリー

お気軽に
お問い合わせ
ください!



<https://www.carefit.org/farm/> **ケアフィットファーム** 🔍検索

公式X (旧Twitter) では、各種イベントの案内・新着求人情報・イベントカレンダーなど最新情報を配信します。



公式LINEでは、福祉のお仕事に関する求人求職情報・相談会などを含む各種イベント情報を案内、トークでの相談もできます。

山梨県福祉人材センター
公式LINE



山梨県福祉人材センター
公式X (旧Twitter)



**発行：山梨県福祉人材センター
(山梨県社会福祉協議会内)**

福祉人材無料職業紹介所 厚生労働省許可番号：19-ム-010004
〒400-0005 甲府市北新1-2-12(山梨県福祉プラザ1階)
TEL.055-254-8654(直通) FAX.055-254-8690
E-mail jinzai@y-fukushi.or.jp

Access JR甲府駅北口より塚原行、上帯那行、
HANAZONOホスピタル行バスで10分
山梨県福祉プラザ(停留所)下車

